
シンドローム

亜野 燈斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シンドローム

【Nコード】

N9661B

【作者名】

亜野 燈斗

【あらすじ】

説明できないパラレルワールドのお話。

(前書き)

この話はめっちゃくちゃです。ご注意ください。フィクションです

その建物の前で少女は悩んでいた
どちらにしようかと：

彼女の名前は田中花子、BLマニアの17歳、高校3年である。

彼女は悩んでいる。どちらにしようかと。

もう、悩み始めて5分が経つ。そろそろ決めなければ時間が無くなってしまう。

さらに2分後少女は決意した。

「よし、焼きそばパンにしよう。コロツケパンはまた今度」
そう呟いて歩き出す花子。

その時、彼女は背後に近づく危険な気配に気づき振りかえる

花子の横を何者かが通り過ぎる：

売店の方にソイツは向かった。

ソイツとは山田太郎、17歳高校3年で花子のクラスメイトである。
そして、

「おばちゃん、焼きそばパン頂戴」

売店にある焼きそばパンは残り1つだった。それも今はもう無い。

花子は目の前が真っ暗になり、意識が遠退くを感じた…。

————

彼女が目を覚めたのは午後3時を少し過ぎたくらいだった。

「ここは…保健室？なんで私はここに…」

花子が上体を起こし辺りを見回すと保健室の教諭が「暇だから」という理由で勝手に持ち込んだテレビの前に男子生徒が1人座っている。

すると、こちらの気配に気付いたのか男子生徒が振り向いてきた。

「あ！目が覚めたんだ！よかったね。君、売店の前で倒れたんだよ」

記憶が戻ってきた花子。全てを思い出す。

「あ、そうだった…私…。えーっと、村井君が私をここに運んでくれたの？」

男子生徒の名前は村井・エリザベス・ロルリツチ・ストラビイス。やたらと名前が長い奴である。エリザベスのエ、ロルリツチのロ、ストラビイスのSを取って、通称「エロス」と呼ばれ、イジメられ…いや、親しまれている。

「うん、びっくりしたよ。ノート買いに行ったら人が倒れてたから」

普通ならラブストーリー的な内容に発展するのなら太郎が助けているべきだろうがそんなもの知ったことではない。

いや、それより問題は売店のおばちゃんである。生徒が倒れたのを完璧に無視してやがるではないか…。

「ねえ、山田君は？」

おもむろに尋ねてみる花子。

「あいつはなんか昼に売店で買ったパンが消費期限切れてたみたいで食中毒で救急車で運ばれたんだよ…」

驚く花子。

そして、さすが売店のおばちゃん。

「まっ…まさか山田君はそれを知ってて私を守る為に焼きそばパンを!?!」

どうやら、花子は頭がおかしいらしい。妄想のプロである。さすがBLマニア。

「私、いかなきゃ! 山田君の所に!」

「え?...ウワッ!!」

村井を突き飛ばし、山田が運ばれた病院に向かって走り出した花子。しかし、この後、大きな壁が立ち塞がるのは花子には知るよしもなかった。

――――

月日は流れずにぶっ飛んで、1ヶ月後、頭がおかしい花子は太郎のために突っ走り、ズサツと高速道路を駆けぬけていた。花子はふと思った。なにかが変なのだ。

「あー太郎のホスピタル…ワカンネエエ!!」そう嘆いた。後ろから何かが猛スピードで追ってきている。

「欧米かアアッ!!」

それは村上エロスだった。

DMな村上は花子に突き飛ばされて以来、夜も眠れなくなっていたのだ。

花子は（あ、ちょうどいい…）と思って村上に病院の場所をはかせた。

村上は花子の下僕になっていた。

――――

「おい、村上、メロンパンのパン抜きとコーヒー牛乳の牛乳無しを買ってこい」

「はい！女王様！でも村井でございます」

「お黙り！私に齒向かうともう鞭で打ってあげないわよ！？」

あれから花子は太郎に会いに行ったのだが太郎はすでに…。

一方村井は村上と呼ばれるようになっていた。

そして、今、二人は異世界にいる。

なんやかんやで（いきなり箒にまたがって現れた下半身をさらけ出している中肉中背の中年親父、自称、魔法使いマリーちゃん）に飛ばされたのだマリーちゃんによると伝説のアイテム『納豆5パック1円』を手に入れてればもとの世界に戻るらしい。

「早い所、伝説のアイテム『納豆5パック1円』を手に入れて元の世界に戻らなければ…」

花子とエロスの旅は始まったばかりである。

（後書き）

読んでくださり、ありがとうございました。中途半端に何も解決しない物語ですみませんが、これが私の書きたかった物なのです。仕方ない。ではでは、また会う日までさようなら。続きは次回の講釈で。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9661b/>

シンдрローム

2010年10月26日09時12分発行